

2023. 1
GUIDE BOOK
Fukuchimachi Syafukuren

人と人が
つながって
可能性は
無限大

一般社団法人 福智町社会福祉連携協議会



01 地域公益活動連携協議会から一般社団法人へ

平成 28 年 4 月に社会福祉協議会会長が発起人となり、福智町で施設や事業所を経営する社会福祉法人に、連携協議会の設立に関する賛同と参加を呼びかけ、福智町の 21 の社会福祉法人に賛同いただき平成 28 年 6 月 7 日「福智町社会福祉法人地域公益活動連携協議会」が発足しました。その後、新たに新設された 2 法人と未加入だった 1 法人が加入し、福智町のすべての社会福祉法人が加入するに至りました。24 の法人が一つとなって地域における公益的な取り組みをおこなうとともに、地域住民の福祉の向上に向けて活動を続けています。また、事務の共同化を図り、24 法人町内 62 施設事業所、職員数 1,494 人というスケールメリットを生かした取り組みも進めています。さらに令和 3 年 4 月 1 日より「一般社団法人福智町社会福祉連携協議会」として法人化し、さらなる取り組みの連携協働の深化を図っています。



02 社福連会員法人一覧 社福連会員 24 法人 (福智町内の社会福祉法人加入率 100%)

社会福祉法人 慶寿会 福智町上野 3157-3 Tel:0947-28-5689 Fax : 0947-28-5749	社会福祉法人 久和会 福智町赤池 474-138 Tel:0947-28-6224 Fax : 0947-28-6244
社会福祉法人 赤池福祉会 福智町赤池 970-4 Tel:0947-28-2130 Fax : 0947-28-2130	社会福祉法人 福智会 福智町弁城 4193-28 Tel:0947-22-1434 Fax : 0947-22-1434
社会福祉法人 豊徳会 福智町伊方 638 Tel:0947-22-7705 Fax : 0947-22-7706	社会福祉法人 福寿会 福智町伊方 2611-1 Tel:0947-22-4933 Fax : 0947-22-1959
社会福祉法人 菊陽会 福智町伊方 4448 Tel:0947-22-5177 Fax : 0947-22-6680	社会福祉法人 見真会 福智町伊方 4050 Tel:0947-47-3000 Fax : 0947-47-3300
社会福祉法人 伊方福祉会 福智町伊方 4227-2 Tel:0947-22-9077 Fax : 0947-22-9066	社会福祉法人 サンヒルズふくち会 福智町弁城 3081-1 Tel:0947-22-1414 Fax : 0947-22-1881
社会福祉法人 方城福祉会 福智町弁城 4193-15 Tel:0947-22-5888 Fax : 0947-22-5889	社会福祉法人 レーブ福岡 ケアハウスひかり 福智町伊方 2450-19 Tel:0947-47-3500 Fax : 0947-47-3501
社会福祉法人 宝福祉会 福智町金田 1336-2 Tel:0947-22-4435 Fax : 0947-22-4550	社会福祉法人 彦水会 福智町金田 958-6 Tel:0947-22-0435 Fax : 0947-22-0706
社会福祉法人 上金田福祉会 福智町金田 273 Tel:0947-22-3653 Fax : 0947-22-3825	社会福祉法人 全和会 飯塚市太郎丸一ツ木 499-1 Tel:0948-26-6620 Fax : 0948-26-6635
社会福祉法人 筑豊福祉会 第二長寿園 福智町金田 1257-2-1 Tel:0947-22-4080 Fax : 0947-22-3643	社会福祉法人 佳寿会 福智町神崎 708 Tel:0947-22-5529 Fax : 0947-22-6095
社会福祉法人 日王福祉会 福智町神崎 1056-114 Tel:0947-22-0280 Fax : 0947-22-7020	社会福祉法人 朝日会 福智町神崎 1533-151 Tel:0947-22-3939 Fax : 0947-22-6100
社会福祉法人 青空福祉会 京都都みやこ町上原 1011-4 Tel:0930-33-5571 Fax : 0930-33-5572	社会福祉法人 頓野児童福祉会 直方市頓野 2535-44 Tel:0949-28-1766 Fax : 0949-28-1776
社会福祉法人 ぎんなん会 福智町伊方 3958-1 Tel:0947-22-0253 Fax : 0947-22-6155	社会福祉法人 福智町社会福祉協議会 福智町金田 1154-2 Tel:0947-22-6631 Fax : 0947-22-6678

03 会員法人専門職資格一覧

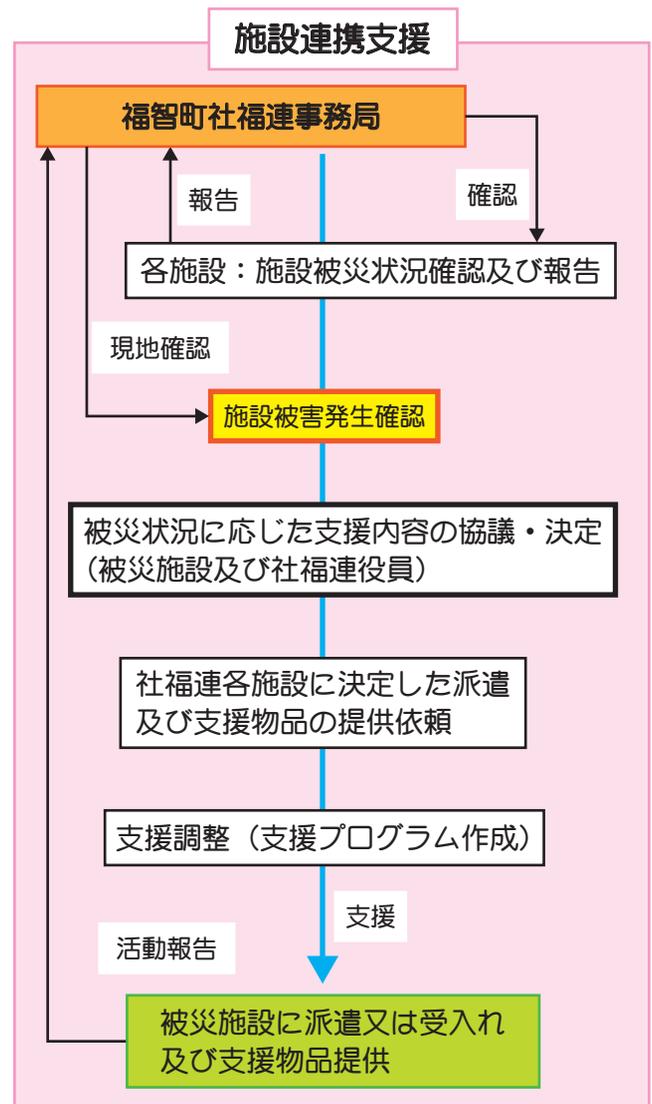
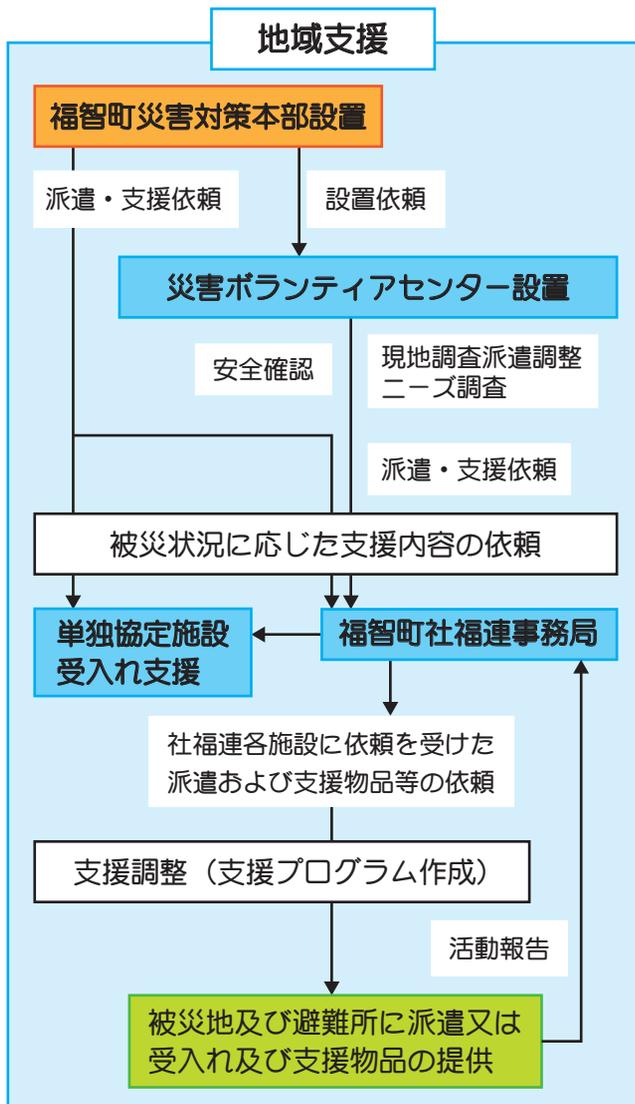
社福連では多くの専門職が働いており、その知識や技術をあらゆる場面で地域において活用できる方策を検討しています。

NO	職種	合計	内訳	
			常勤	非常勤
1	保健師	1	1	0
2	正看護師	49	41	8
3	准看護師	64	49	15
4	社会福祉士	40	39	1
5	精神保健福祉士	12	12	0
6	介護福祉士	342	313	29
7	主任介護支援専門員	7	6	1
8	介護支援専門員	65	62	3
9	管理栄養士	16	16	0
10	栄養士	28	28	0

NO	職種	合計	内訳	
			常勤	非常勤
11	保育士	296	262	34
12	理学療法士	14	11	3
13	作業療法士	4	4	0
14	言語聴覚士	2	1	1
15	臨床心理士	5	4	1
16	防災士	4	4	0
17	歯科衛生士	3	3	0
18	調理師	73	63	10
19	社会福祉主事	63	62	1
20	その他	6	5	1
専門職合計		1,094	986	108

04 災害時支援連携イメージフローチャート

大規模災害発生



05 公益的な7つの取り組み

1 地域交流活動提供事業

地域に点在する施設においておこなう行事を地域のつながりの再生の場として捉え、特につなごりの薄い孤立者・引きこもり・障がい（児）・高齢者、及び要支援者と地域住民の交流の場を提供し、あわせて施設や事業所の地域交流の促進をおこないます。

福智町社会福祉法人 地域公益活動連携協議会からのお知らせ

【地域公益活動連携協議会とは？】
この協議会では、町内に点在する施設や事業所、NPO・市民協会の協力を得て、地域住民の生活支援や福祉の向上に貢献しています。協議会では、町内に点在する施設や事業所、NPO・市民協会の協力を得て、地域住民の生活支援や福祉の向上に貢献しています。

福智町施設イベントカレンダー 平成30年5月

施設名	開催日時	内容
福智町社会福祉センター	5月10日	地域交流イベント
福智町社会福祉センター	5月15日	地域交流イベント
福智町社会福祉センター	5月20日	地域交流イベント
福智町社会福祉センター	5月25日	地域交流イベント
福智町社会福祉センター	5月30日	地域交流イベント

福智町社会福祉法人 サッポロふくろ会
福智町社会福祉法人 福智山グループホーム
福智町社会福祉法人 福智山グループホーム

つぎは裏面をご覧ください

- ① 各事業所で開催される行事の1つを地域住民の交流活動の場として開催。
- ② 交流活動行事カレンダー作成と町民への周知。
- ③ 行事を通じて地域住民のつながりの強化へ。

2 地域に身近な福祉相談窓口連携事業

地域に点在する施設や事業所に地域に身近な相談窓口を設置し、一時相談窓口として生活困窮者や認知症など地域の要支援者の相談又はその要支援者への支援について相談を受けるとともに、ゲートキーパーとしての役割も担います。また、相談内容に応じて他施設や関係機関へつなげ社福連を中心とした相談支援ネットワークの構築を図っていきます。現在32の施設・事業所に相談窓口を設置しています。

福祉なんでも相談所
(介護・認知症・生活困窮)

どなたでもご相談できます。
お気軽にご相談ください。

まずは相談を...
相談

特別養護老人ホーム 第二長寿園

※本事業所のためその場で対応できない場合があります。ご了承ください
福智町社会福祉法人地域公益活動連携協議会

- ① 各施設に「地域に身近な福祉相談窓口」を設置する。その対応については各施設の職員により対応する。
- ② 相談を受けた内容により、他施設や関係機関につなげる。（一時的相談窓口機能）
- ③ 適切なつながりがスムーズにできるように、社福連を中心とした相談支援ネットワークを構築する。
- ④ 相談窓口の手引きと社会資源リストの活用

5 災害時要援護者等支援事業

最近は大規模災害が所かまわず発生しているのが現状です。福智町でも福智山活断層があり、未曾有の大災害が発生しないとも限りません。福智町に点在する各施設の機能を活かし、安全と認められた地域の施設を福智町と協定を結び、近隣の生活避難所として指定し、避難住民の安全と生活の継続について支援をおこないます。必要に応じ対応可能な避難所への福祉的支援をおこないます。



- ① 災害時に生活避難所として活用する計画を福智町と協定し支援する。
- ② 災害時における地域住民の日常生活が継続できるよう日用品等の提供などをおこなう。
- ③ 避難が必要であり、介護が必要な要支援者への受入れ等の対応をおこなう。

6 地域パトロール推進事業

地域の要支援者の見守りは、地域でおこなうのが最も有効ですが、地域によっては見守り活動が成り立たない地域も存在します。そのためアウトリーチによる訪問活動が必要です。各施設で地域を回る業務の中で気づいたことを事務局へ情報提供します。特に要援護高齢者宅や孤立化した世帯、問題のある子育て世帯などに見守りや支援活動をおこないます。



- ① 会員がハイリスクの高齢者宅や孤立化した世帯、問題のある子育て世帯などに対して各施設の送迎等で地域を巡回する際に、見守りパトロールを合わせておこなう。
- ② 見守りマニュアルに基づき実施するとともに「気づきリスト」を活用し常に見守りのアンテナを張り実施。
- ③ 福智町 SOS ネットワークとの連携。

3 要支援者サポーター養成事業

今、認知症の方や身体障がい者の方また精神障がい者の方などの要支援者が地域において普通に暮らせる社会が求められ、ソーシャルインクルージョンによる取り組みの重要性が叫ばれています。そのためには、地域で要支援者を支える又は理解するサポーターを多く作り出すことが必要です。そのサポーターの養成を地域ごとに進め支援していきます。



- ・オレンジリング（認知症サポーター）=2,800名
- ・ブルーリング（障がい者サポーター）=26名
- ・ホワイトリング（子育てサポーター）=40名

- ① 地域における要支援者を地域でサポートする体制を作り出すために、それぞれの状況に対応できる（又は理解する）サポーターの養成研修会を地域において実施する。
- ② サポーター養成事業の年間計画、実施施設や実施日の設定、各施設からの職員による講師候補や企画、進行役職員等の役割分担をおこない実行する。
- ③ 広報活動や各施設の近隣住民に声掛けし実施する。

4 子どもの居場所づくり・学習支援事業

子どもの学力向上に対する取り組みの中で、特に不登校やひとり親家庭に対する学習機会の確保が課題となっています。また、生活困窮世帯、ひとり親家庭や不登校児を中心に子どもの居場所づくりの必要性が叫ばれており、居場所づくり（子ども食堂含む）、交流活動、学習支援を法人の施設内でおこなうとともに、入所者との交流もおこないながら子どもたちの健全な育成を支援していきます。



- ① 学校と施設利用者との交流活動をおこない、学習意欲を高めるような取り組みもあわせておこなう。モデル的に実施し支援。
- ② ひとり親家庭や閉じこもり傾向にある児童等を施設の一室を利用し、居場所づくりをおこなう。

7 フードバンク及びフードファミリー事業

フードファミリーとは、食材等を提供していただける地域住民のことで、事前に登録していただき、生活困窮者等の事例が発生した場合にご連絡を差し上げ、提供をしていただいた食材等を即時に生活困窮者等に提供するシステムのことで、フードバンク及びフードファミリーの管理運用は、一般社団法人福智町社会福祉連携協議会と福智町社会福祉協議会がおこないます。



- ① 個人会員
地域住民でフードファミリーのおこなう活動の趣旨に賛同し、食材等の提供をしていただける個人の方。
- ② 法人会員
地域の企業・商店・施設等においてフードファミリーのおこなう活動の趣旨に賛同し、食材等を提供していただける法人。



← 詳しくは社福連HP内のフードファミリーのページをご参照ください。

種別	フードバンク	フードファミリー
提供いただける食材	保存期間が6ヶ月以上ある食材	保存期間が概ね1週間以上ある食材
食材提供の受付	常時受付	必要時に登録会員にお知らせ
食材等の保管	福智町社会福祉協議会で保管	必要時に登録会員より提供
メリット	在庫がある為迅速に提供できる	1. 提供いただける食材の幅が広がる 2. 必要なものをダイレクトにお願いできる（指定が可能） 3. 食材を保管しなくてよい 4. 提供する側の充実感がある
デメリット	随時出てくる保存切れの食材の対応	食材のチェック

1 個人情報を含む書類の合同処分 及びリサイクル活用の取組み

保存年月の過ぎた個人情報を含む書類の破棄は、比較的手間がかかります。事務作業の手間を省き、個人情報が守られ確実に溶解処理し、また合同で行うことにより1個あたりの処分料金のコストダウンが可能となるとともに、廃棄物のリサイクル（トイレットペーパー）による環境保全にも貢献する取り組みです。



※ 令和2年9月実施
処分数実績 446箱
重量 8,360kg 1箱 300円
トイレットペーパー 68,970個
相当にリサイクル

2 合同人材募集

個別ではなかなか確保することが難しい福祉業界での人材難を解消する方法の一つとして、合同による人材募集を行い、事務の効率化と効果の向上を図ります。第1回目の募集では求人チラシを発行し町内世帯(8,300世帯)へ全戸配布。第2回目の募集では町内世帯への全戸配布とともに福智町中心部から半径10キロ圏内において大手新聞4社への折り込みやフリーマガジンHenに求人ページを掲載しました。現在は年4回最新の求人募集を町内全世帯へ配布しています。



詳しくは社福連HP内の人材求人情報のページをご参照ください。

3 外国人介護人材確保基盤整備事業 技能実習生との面談（フィリピン）

外国人介護人材確保基盤整備事業として、社会福祉法人が運営する介護施設・事業所の介護労働者不足は喫緊の課題です。将来を見通してグローバルな視点から外国人介護人材の活用における安心安全な受入れ体制づくりを進めています。



※ 現在、登録支援機関と連携して特定技能外国人の受け入れをおこなっています。

4 ICTによる法人連携の推進

24の会員法人の連携強化を図るために、国の補助金を活用しICTを活用した法人間連携を進めています。各法人に専用パソコンを配置するとともに、サイボウズのkintone及びLINEWORKS、LINE公式アカウントを活用したシステムを構築し連携が行えるよう、運用訓練を行いながら会員間の情報共有（リモート相談、フードバンク在庫確認、施設利用状況など）やLINEから会員間や住民、生活困窮者への情報提供ができるなどICTを活用して様々な運用を行っています。

6 経費削減に関わる合同電力割引交渉

各法人の経費削減について、電力会社による高圧電力契約施設における割引交渉をおこない、「大規模特約割引契約」を実現しました。現在電力会社と高圧電力契約している法人（施設）については割引率を契約施設ごとに電力会社から提示していただきました。低電力契約をしている法人（施設）は今回の割引の対象としていませんが、今後低電圧電力についても割引を検討していただく予定です。社福連全体で年間約1,500万円の経費削減が見込まれました。しかし現在は、電力供給不足から割引も厳しい状況ですが、節電契約で一時金など新たな提案を受けています。

5 共同購入品目の調査

福智町社福連24法人による共同化によるスケールメリットを生かし、各法人が消費する消耗品や生活用品、食材等を高品質で低価格で共同購入することができるものがあるのか調査をおこない、経費の削減や事務の効率化を図ります。

7 合同接遇研修

新人職員研修や接遇研修など各法人で企画する研修を、社福連で企画し合同開催します。合同でおこなうことにより、他施設の職員と知り合えたり、講師謝金や会場費などの各種費用を削減することができます。

07 その他事業

赤い羽根自動販売機設置推進事業

福智町社福連では、会員の施設や事業所また関係する企業そして福智町の協力をいただきながら、赤い羽根自販機の設置を推奨し、赤い羽根自販機による寄附金を活用して、構成会員からの会費とあわせて公益的な取り組みの財源としています。



- ① 福智町では現在、寄付付き自販機を 27 台設置済み。
- ② 令和 3 年度実績

年間販売数	50,557 本
売上金額	6,066,840 円
寄附金額	610,823 円

※自販機での寄付額実績全国第 1 位に（福智町第二長寿園）

ふくおかライフレスキュー事業

生活困窮者の命と生活を守る伴走型支援として、「今日明日食べるものがない」「電気・ガス・水道が止められた」「失業した」「虐待やDVを受けている」など、地域で暮らす様々な方からの相談に、各施設に配置されたサポーター



が実際に現場に行き、自分の目と耳で確認しながら対応し、各種制度やサービスに繋ぐ等、生活が安定するまでの支援をおこないます。また、緊急の場合は食材支援やライフラインの復旧等、経済的援助（現物支給）もおこないます。

08 今後の展望

法人後見事業の学習と実施体制の整備

福智町社福連では、今後必要性の高くなる事業として法人後見事業の実施に向け取り組んでいます。会員である福智町社会福祉協議会がおこなう日常生活自立支援事業と連携するとともに、地域住民や福祉関係団体と連携しながら、ご本人を中心としソーシャルサポートネットワークをつくりまします。職員がご本人に適した支援方法を考え、社福連会員や福祉関係機関と協力しながら利用者を支援していきます。また、法人後見の特徴として、後見実務担当者が交代しても長期にわたって一貫した本人支援ができます。複数の後見実務担当者がいるため、本人に適した担当者を置くことが可能です。また組織として培った様々な地域連携ネットワークを本人支援に活かせる法人後見事業の体制づくりを進めています。

災害時支援への取り組みの強化

福智町独自の災害福祉支援チーム（福智DWA T）の設置を検討していきます。

地域買い物支援事業

日常的な買い物に不便を感じている方を支援するため、社福連会員法人の周辺地域の高齢者で希望する方を、集会所（または高齢者の自宅）からスーパーまでをデイサービス送迎車等で無料送迎する事業です。令和 3 年度からモデルケースとして、「伊方福祉社会」で実施しています。地域の方々とつながっていくためにも、今後は会員法人に少しずつ広げていくように計画しています。

相談窓口の手引きと社会資源リスト作成活用



（左）社会資源リスト
総ページ数 204 ページ
（右）相談窓口の手引き
総ページ数 172 ページ

課題に応じた各種研修会の開催



福智町社福連 HP



地域人材派遣事業（地域出前講座）

社福連会員の中には、専門的知識や技術を持った方や特技を持った方、趣味が高じて博士的な知識や技術を持った方などがあり、その知識や技術を地域の要望に応じて地域住民に還元する事業です。

介護従業者養成

介護従事者の確保はどここの法人・施設も大きな課題です。人材が定着するためには、育成から行う方が高い定着率であることから、介護職員初任者研修実施機関として県の指定を受け、介護従事者の養成を行うよう計画しています。

B to B による企業間契約モデル

今後は施設と個人との取引（B to C）とあわせて施設と企業との取引（B to B）について、新たな契約モデルを模索していきます。



福智町社福連

検索

<https://www.fukuchimachisyafukuren.com/>



一般社団法人 福智町社会福祉連携協議会

〒822-1201

福岡県田川郡福智町金田1154-2

事務局 福智町社会福祉協議会 総務課

Tel 0947-22-6631

Fax 0947-22-6678

Mail fukutimatiskk@diary.ocn.ne.jp